

定山溪小天狗岳

日 程：平成26年8月9日（日）

参加者：男性－6名、女性－6名 計12名

行 程：ダム下公園登山口；9時42分、

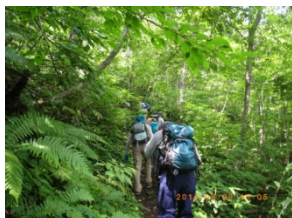
小天狗岳頂上；11時05分、発、11時10分

登山口；12時15分、昼食（12時15分～45分）

朝7時に伊達道の駅に9名が集合、車2台に分乗し定山溪に向かう。途中、様足しをし8時50分頃定山溪札幌ダム下の公園入り口に到着する。札幌より参加の2名他数台の車がゲートが開くのを待っていた。9時、ゲートが開くのを待ちかね、駐車場に向かう。遅れて、苫小牧より参加の1名も駐車場に見え、参加者12名が揃う。身支度、準備体操後、登山口に向かう。ダム下 駐車場、 登山口への階段



9時42分Ⅱ班に分かれ、A班より登山開始、沢沿いの湿った道を登る。



札幌国際・小樽方面に行く橋脚のガード下を潜ると勾配が少しくなり汗ばむ。

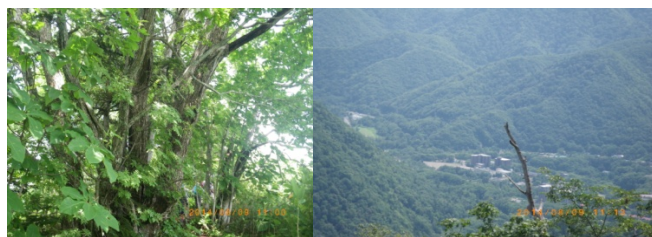
数か所の倒木が道を塞ぎ、乗り越え、跨ぎ、潜る。



570m 付近の木陰で小休止。さっぽろ湖を俯瞰



標高差450mの急登が続く、両側は檜、クヌギ、トド松などの大木が茂り、登山道に日陰を作るが反面、道は湿って滑り易い、下りが心配だ。



仲間と励まし合い、11時05分頂上を踏む。



頂上より定山溪天狗岳、さっぽろ湖の奥に烏帽子岳・神威岳が望めた。

昼は公園で採る事にして、早々に頂上を後にする。

下りは滑る、慎重に。倒木を乗り越えて。



12時15分登山口に到着、広場芝生で昼食を採る。ダムサイドの展望台への急階段を登り、展望台に立つ



下の駐車場で札幌、苫小牧の3名と別れ、帰途に就く。向洞爺のいこいの家で入浴、16時30分伊達で解散、17時30分帰宅する。

十数年前に登った時と登山道が一部変わっていた。1・5時間位で登れる標高の低い山だが、急登ありで小粒だが侮れない山だ。秋は素晴らしいと思う。

記 近藤